

Q3

速読の仕方を教えてください。

A

まず、「なぜ速読をしなければならないのか」ということを考えてみましょう。その回答は、集約すれば、次の2点になると思います。

- 1) なるべく短い時間で情報を得るため
- 2) より正しい情報を得るため

上記の②は、「速く読むこと」とは、一見矛盾しているかのように思えます。なるほど、英文の材料によっては、一語一語を大切に精読しなければならない場合もありますが、たいていの場合は、「ゆっくりと読めば正しい情報が得られる」というものではありません。ゆっくり読むと、どうしても、「一度に一語を読む」ことになってしまい、個々の英単語は、次のようにばらばらなものになってしまいがちだからです。

When you answer the telephone, you can often make some pretty good guesses about various characteristics of the speaker. Pat was able to deduce quite a lot about Mark's caller, even though the caller had said nothing explicitly about herself. Most listeners can identify children's voices without any problem. When the caller is an adult it is usually easy to tell whether a speaker is female or male.

長文読解の訓練を始めたばかりの生徒は、このようなワナにはまってしまいがちです。しかし、この読み方では、全体として何を言いたいのかという、肝心の情報は得られません。

次のように、「語のまとまり」単位で読んでいく方が、むしろ正しい情報を得ることができます。

When you answer the telephone, // you can often make some pretty good guesses / about various characteristics / of the speaker. // Pat was able to deduce quite a lot / about Mark's caller, // even though the caller had said nothing explicitly / about herself. // Most listeners can identify children's voices / without any problem. // When the caller is an adult // it is usually easy / to tell // whether a speaker is female or male. (京都大学前期)

1 フレーズ・リーディングの実践 (Phrase Reading)

このような読み方を、「フレーズ・リーディング」と呼びます。この英文は京都大学の入試問題の一部ですから、難しい単語がたくさん出ていますが、やがて皆さんも、それほど難しく読むことができるようになるはずですよ。

「語のまとまり」を作る場合には、次のことを心がけてください。

① 接続詞の前で大きく区切る

先ほどの英文の第一文のように、「接続詞 + S + V ..., S' + V' ~」の形の英文の場合には、2番目の主語の前で大きく区切ります。

② 前置詞の前で区切る

「前置詞 + 目的語」の「語のまとまり」を作ります。

③ 「動詞 + 目的語」の「語のまとまり」を作る

皆さんの多くに共通している欠点として、この③の意識が希薄なような気がします。動詞が出てきたら、とにかく、「動詞 + 目的語」のまとまりを早く作ってください。(もちろん、第一文型 (SV) と第二文型 (SVC) の英文には目的語はありません。)

④ 熟語を早く見つける

もっとも、そのためには、何が熟語かを知っておかなければなりません。英単語の学習と並行して、熟語の学習もなるべく早く始めてください。

以上を実践すると、次のような読み方ができるようになります。

When you answer the telephone, // you can often make some pretty
動詞+目的語 主語の前の区切り 動詞+目的語
 good guesses / about various characteristics / of the speaker.
前置詞+目的語 前置詞+目的語
 // Pat was able to deduce quite a lot / about Mark's caller,
熟語 前置詞+目的語
 // even though the caller had said nothing explicitly / about herself.
熟語の接続詞 動詞+目的語 前置詞+目的語
 // Most listeners can identify children's voices / without any problem.
動詞+目的語 前置詞+目的語
 // When the caller is an adult // it is usually easy / to tell //
不定詞

whether a speaker is female or male.

熟語

2 未知の英単語の飛ばし読み (Skip over unknown words)

欧米で出版されている有名な「速読法」の書籍は、英文を速く読む方法としてさまざまな手法を提案していますが、およそ10冊の「速読法」の書籍に共通して、しかも皆さんにすぐにでも役立ちそうなポイントだけを紹介しておきますと、次のようになります。

- ① 知らない単語を飛ばして読むこと
- ② 英文の話題になっている事柄を日頃からよく知っておくこと
- ③ 日頃から読書習慣を身につけておくこと
- ④ 英単語・英熟語の語彙を増やすこと

他にも、「一度に見る英単語の数を増やすこと」などを挙げる書籍もあります。もっとも、これらの有名な書籍は、もともと英単語をすでに十分知っている英語のネイティブが、いかに速く読むかを指導したものですから、それを外国人の立場である(=未知の英単語が非常にたくさんある)皆さんにそのまま当てはめるわけにはいきません。

ただ、そうは言っても、これから英単語を増やしていかなければならない立場の皆さんにも、基本的な心構えとして、この四つはぜひ実践していただきたいと思います。授業の予習の時や、試験で新しい英文と取り組む時などには、ぜひこの四つを意識して実践するように心がけてください。特に、①の「未知の単語の飛ばし読み」は、10冊すべてが推奨している読み方ですので、ここで少し詳しく触れておきましょう。

未知の英単語を飛ばし読みする目的は、「著者の言いたいこと(Main Idea)を正確につかむ」ためです。飛ばし読みをする際に気をつけていただきたいことが一つあります。「飛ばし読み」というのは、「適当に飛ばして読めばいい」ということではありません。先の「フレーズ・リーディング」を実践しながら、なるべく正確に読むように心がけてください。そのように心がけて読んでいてもなお、意味不明の箇所が出てきた時に、そこで立ち止まらないということなのです。「意味の不明な箇所に対して、心を碎かない」ということです。むしろ、「その後ろには必ずわかりやすい箇所が出てくるから、そこを手掛かりに読み進む」というふうを考えてください。

これまで述べたことをまとめると——速読が上達するためには、「フレーズ・リーディングを実践するように常に心がけ、未知の英単語の部分は飛ばし読みをする。それと同時に、日頃からボキャブラリーを多くするように努力し、英文法・構文の学習も怠らず、さまざまな分野に興味を持ち、広く知識を増やすようにする。英文を読む時には、速く読むように常に心がけ、未知の英単語の意味も、辞書を引く前に一度推測してみる習慣を身につける」

ということになります。

3 段落の先頭にある英文だけを読んでいく方法

速読法の一つとして、各段落の先頭にある英文だけを読んでいく方法を勧める書籍も少なからずあります。確かに、この方法が非常に大きな効果をもたらすことがあります。実は、私自身も、例えば *TIME* 誌(アメリカの週刊誌)を読む時など、つまり、段落が六つ以上あるような英文を読む時には、この方法を実践しています。この方法で著者の Main Idea はつかめてしまいます。皆さんもぜひ一度ためてみてください。

ただし、気をつけていただきたいことは、「この方法でいつもうまくいくとは限らない」ということです。英文の内容によりますので、「過大な期待をしないで実践する」くらいの心構えがいいと思います。